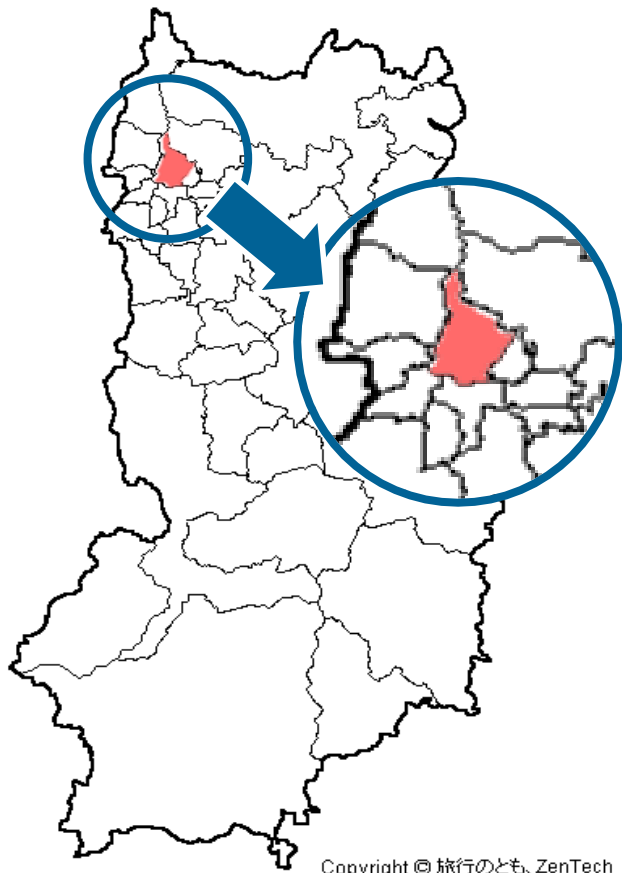


斑鳩町発展ビジョン

第5回地域フォーラム
斑鳩町長 中西 和夫
令和元年9月14日(土)



斑鳩町について



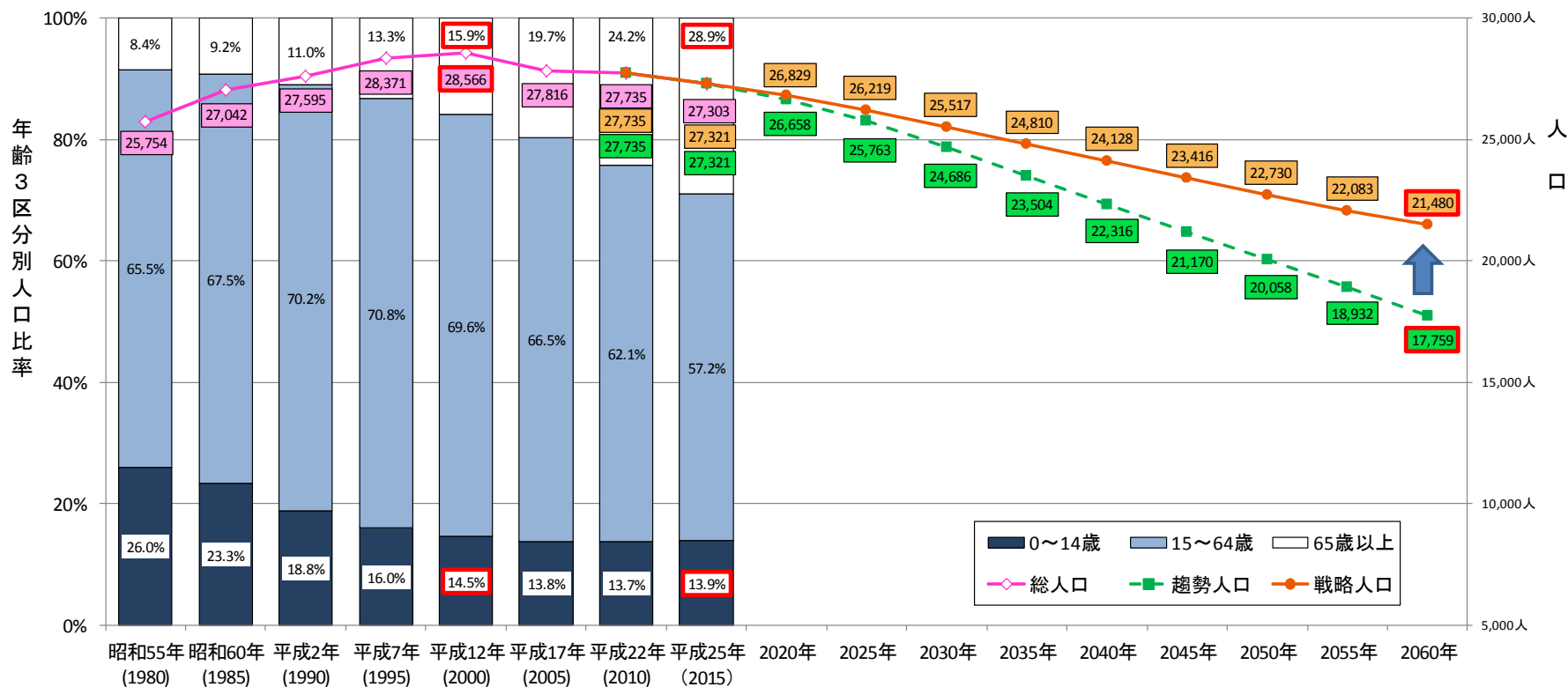
- 奈良盆地の北西部から、矢田丘陵の南に渡る地域
- 町の南には大和川、東には富雄川、西には竜田川
- JR法隆寺駅から大阪まで約40分、JR奈良駅まで12分
- 「法隆寺地域の仏教建造物」は、日本初の世界文化遺産



世界遺産を含む豊かな歴史と文化がくらしの中に息づくまち
“斑鳩町”

斑鳩町の人口

- 斑鳩町の総人口は平成12年をピークに緩やかな減少過程に入っている。
- 年少人口比率: 14.5% → 13.9% 高齡化比率: 15.9% → 28.9%
- 「斑鳩町人口ビジョン」では、2060年には、約17,800人まで減少する見通し
- 2060年における戦略人口として、21,500人程度の人口規模をめざす。

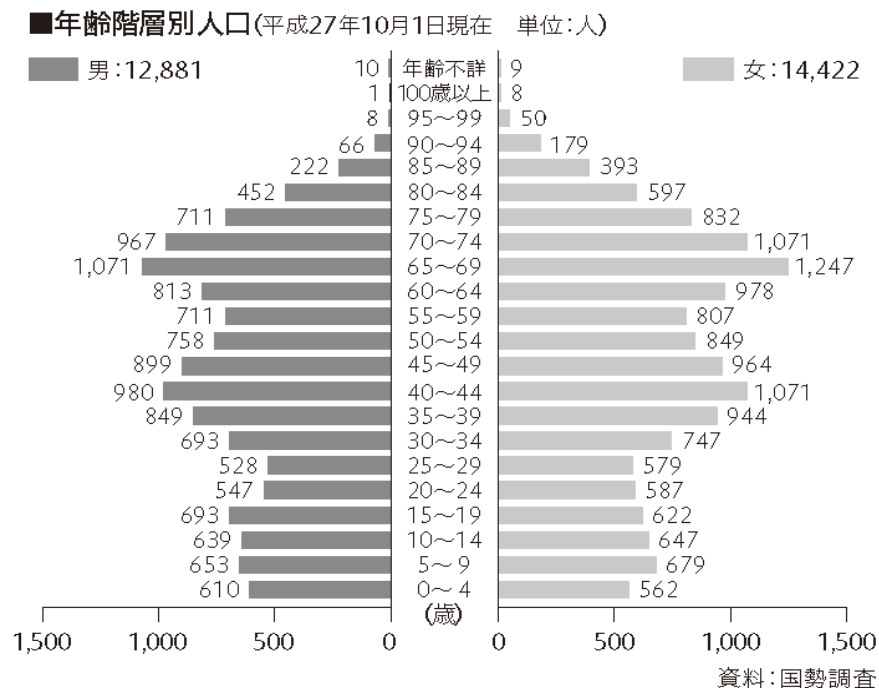


斑鳩町の人口

- かつては、若年層・成人世代の流入に支えられ、バランスのとれた人口構成
- 現在は60歳代後半がピーク
- 若い世代が高齢者を支えるシステムだけでは、新しい時代に対応しきれない。



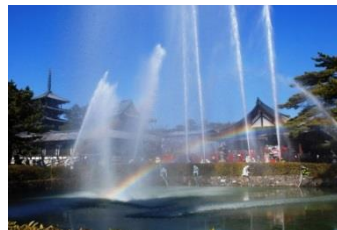
高齢者が健康で生き生きと活躍でき、子どもが健やかに育つまちづくりが必要



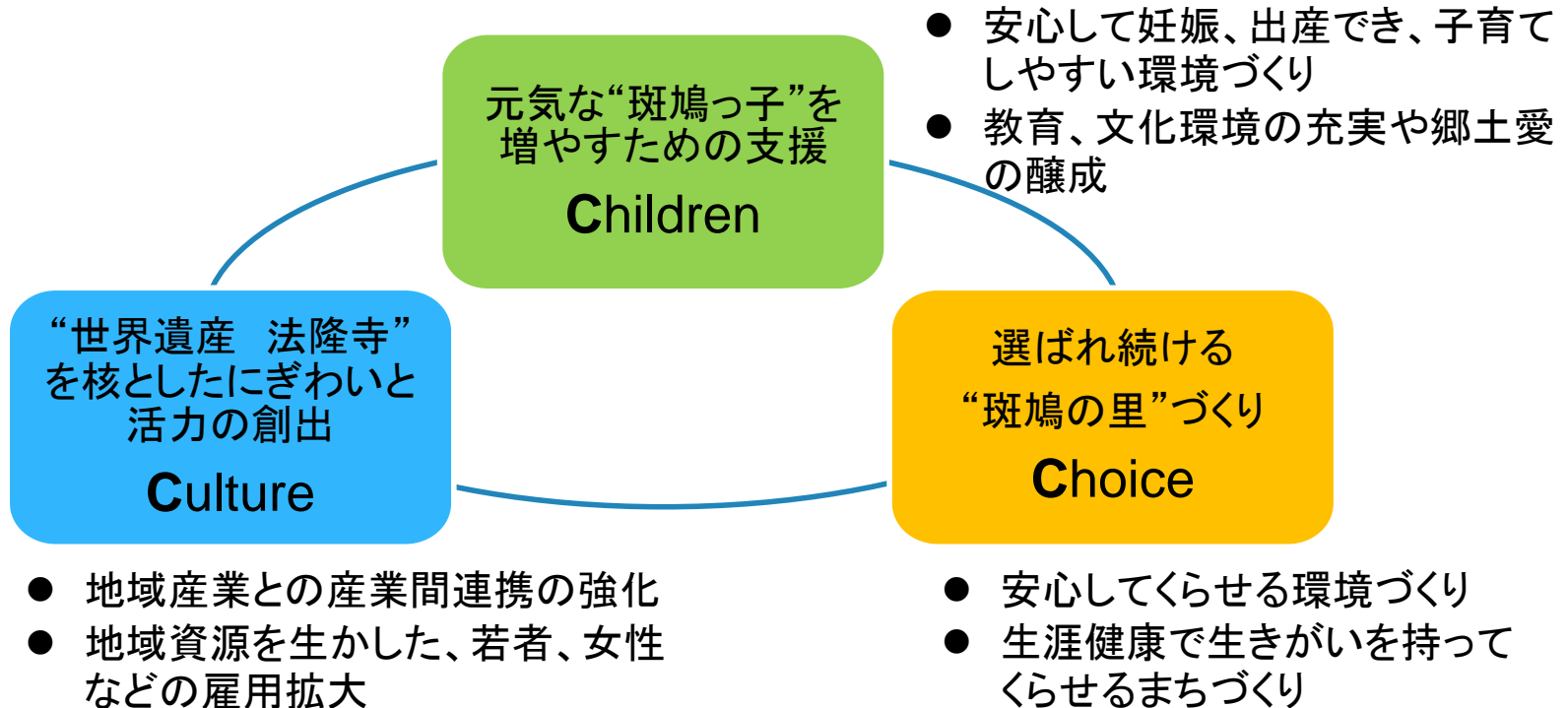
ともに生き、ともに育むまち 歴史と文化がくらしの中に息づく “新斑鳩の里”

まちの将来像である「ともに生き、ともに育むまち 歴史と文化がくらしの中に息づく“新斑鳩の里”」の実現にむけて、5つのテーマを柱に取り組んでいきます。

1. 町民が「誇り」を感じ、だれもが「行きたい」と感じるまちづくり
2. 世界文化遺産のあるまちふさわしい教育のまちづくり
3. 子育てがしやすく働く女性が輝くまちづくり
4. 誰もが「住み続けたい」と願うまちづくり
5. 安心して生活できるまちづくり



人口減少時代に向けて



“Children” 斑鳩の子どもたち

“Culture” 斑鳩の文化

“Choice” 斑鳩という選択

3つのキーワードからなる、3つの願いをふまえ、戦略人口の実現に向けた力強い一歩を踏み出しています。

具体的な取組み例

- ① 史跡中宮寺跡の整備
- ② 地域子育て支援センター
- ③ 斑鳩ブランドの認定
- ④ 斑鳩の里 農と食の活性化プロジェクト
- ⑤ まちづくりに関する連携協定

①史跡中宮寺跡の整備

- 歴史的資源の活用を通し、身近に歴史が感じられるよう聖徳太子ゆかりの古代寺院である史跡中宮寺跡を公園として整備
- 「いかるがマルシェ」などのイベントを開催し、聖徳太子が生きた時代を感じながら、斑鳩を楽しむ場所にしていく。



②地域子育て支援センター

- 子育て全般に関する支援を行う拠点を設置し、地域の子育て支援情報を提供
- 臨床心理士等による育児相談や子育て支援講座を開催し、子育て支援の輪を広げる。
- 子育て支援講座は、ベビーヨガや食育、パパとの遊び、マネー講座、救護法など幅広いテーマで開催

親子で遊べる“つどいの広場”



③斑鳩ブランドの認定

- 活力ある地元商業の確立をめざし、商工会と連携し
2019年に「斑鳩ブランド」(第2期)の21品目を認定





ikaruga brand

斑鳩ブランド 2019

認定品リスト

1. 全粒粉入り素麺 ベル・ブラン	12. 冠位十二階 瓦コースター
2. 注染 法隆寺てぬぐい	13. らほつ饅頭
3. 菜の花油	14. 竜田饅頭
4. 斑鳩の古代米 黒米	15. 本醸造JAS特選 にっぽん丸大豆しょうゆ
5. 斑鳩名物竜田揚げ 漬け込みだれ	16. いかるがの米飴
6. 斑鳩名物竜田揚げの食べ歩きの仕組み	17. 手焼き職人の大和麩
7. パスタでポン	18. 竹炭麩
8. サクットパスタ	19. クラシック斑鳩 ラベンダー商品
9. キャラメルポップコーン	20. 三井ぶどう シャインマスカット
10. いかるが三昧	21. 和紡化粧おとし
11. 自然食品 奈良漬	以上21品目

④斑鳩の里 農と食の活性化プロジェクト

- 地域特産農作物の開発・調査研究し、食育の推進をはかる。
- 農業委員会の米や、斑鳩の里農と食の活性化プロジェクトで栽培した野菜類を、子ども食堂へ進呈



子どもたちと野菜の収穫



子ども食堂へ
米や野菜を提供



斑鳩ブランド2019に認定
斑鳩産100%の菜の花油と黒米



⑤まちづくりに関する連携協定

- 斑鳩町がすすめている、自治体や民間企業と連携を深めた、「**和の精神でつくる新しい斑鳩づくり**」
- その大きな一歩として、地域の持続的発展や活性化のための「まちづくりに関する連携協定」を、平成30年3月に奈良県と締結
- 「法隆寺とJR法隆寺駅周辺地区」を対象地区として、「まちあるき」と「周遊・着地型観光のまちづくり」をコンセプトに、奈良県と協働でまちづくりに取り組んでいく。



まちづくり協定書を交わして握手する
荒井知事(左)と中西町長(右)



「マルシェ・ホテル・駐車場複合施設」を誘致
※完成イメージ図



まちあるきしやすい
環境整備

斑鳩町の暮らしやすさの評価は高く 定住意向も強い

求められる課題

日常生活

- ・ 災害に関する取組み

町の取組み

- ・ 道路交通網施策の重要度が高い

将来像

- ・ 安全・安心の強化
- ・ 保健福祉の充実

人口減少

- ・ 子育て世代への支援
- ・ 特に子どもを預ける場の充実

まちづくり

- ・ 生活の安全や利便性の向上につながる取組み



平成30年12月実施 まちづくりアンケート調査結果より

新たな斑鳩町へ！

ご清聴ありがとうございました

